

2025年1月24日

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合
NTTコミュニケーションズ株式会社**SSILとNTT Com、ビジネスアイデアコンテスト****「衛星データ活用アワード2024」受賞発表****～最優秀賞は『人工衛星データと転移学習を用いた広域ブルーカーボンポテンシャルの推定サービス』～**

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合（以下 SSIL）と NTT コミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）は、衛星データを活用したグリーン分野に係る課題解決アイデアを募るビジネスコンテスト「衛星データ活用アワード2024」（以下 本プログラム）の受賞者を発表しました。^{※1}

本プログラムでは事業化を目指すベンチャー企業、個人、学生、異業種等、宇宙業界関係者に留まらず幅広く応募を募り、応募の中から優秀なアイデアを2件選出しました。最優秀賞は、株式会社 ME-Lab Japan の『人工衛星データと転移学習を用いた広域ブルーカーボンポテンシャルの推定サービス』となりました。

なお、本プログラムは国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構および経済産業省主催の「NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth」^{※2}と共同開催しており、NTT グループ各社などが展開する宇宙ビジネスブランド「NTT C89」^{※3}、および GX ソリューションブランド「NTT GxInno」^{※4}の取り組みの1つです。

1. 本プログラムの概要

本プログラムでは、グリーン分野で衛星データを活用する事業アイデアを募集しました。また、優れたアイデアを有する個人・企業などを表彰し賞金を授与することで、事業化を支援します。アイデア募集のテーマは、NTT Com による協賛企業テーマと共通テーマがあります。

コンテスト名		衛星データ活用アワード2024
募集テーマ	協賛企業 NTT Com の募集テーマ	宇宙ネットワークを活用した豊かで住みやすい未来を創造するアイデア
	共通テーマ	【1】カーボンクレジット 【2】エネルギーマネジメント 【3】気候変動・環境レジリエンス
応募資格		国内の法人、個人、グループで、上記テーマの事業アイデアを有する者
コンテスト実施期間		2024年7月中旬～2025年1月23日
表彰・賞金		最優秀賞 300万円、審査委員特別賞 10万円
応募方法		事業化プランを所定の様式に記載し、ウェブサイトへ提出

【本プログラムのウェブサイト】

https://ssil.tech/satellite_data_award_2024.html

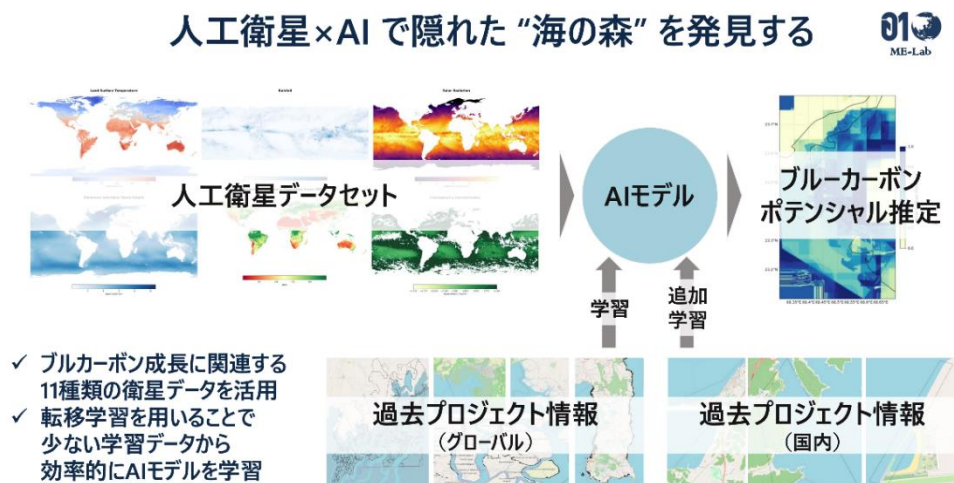
2. 受賞アイデア

○最優秀賞：『人工衛星データと転移学習を用いた広域ブルーカーボンポテンシャルの推定サービス』（株式会社 ME-Lab Japan）

人工衛星を用いたブルーカーボンプロジェクト^{※5}の適正地を推定するシステムを開発するアイデア。人工衛星から取得できる広域の環境情報（海水面温度、降水量、クロロフィル a 濃度、地形情報、波高情報など）と AI 技術を用いることで環境条件的にブルーカーボンプロジェクトに適した地域を推定するソリューションを開発する。

適正地をステークホルダーに情報提供することで、ブルーカーボンプロジェクトの数と規模の拡大を実現し、ステークホルダーが参入したくなる魅力的な市場形成に貢献する。

<アイデアの概要イメージ>



<受賞時の様子>



○審査委員特別賞：『衛星データを使用した3Dマップ構築によるペロブスカイト太陽電池の発電量シミュレーション』（エムシーデジタル株式会社）

ペロブスカイト太陽光発電^{※6}の導入を検討している家庭や企業向けに、投資対効果を簡単に把握するための発電量予測システムを開発するアイデア。衛星データと機械学習を活用し、特定の建物の屋根や壁面の日照条件を考慮した発電量予測モデルを構築する。発電ポテンシャル（投資効果）を正確に算出するとともに、運用時のインバランス料金の低減を通じて、企業のペロブスカイト太陽電池採用促進に貢献する。

＜アイデアの概要イメージ＞



＜受賞時の様子＞



3. 審査について

一次選考、最終選考いずれも下記の審査項目に基づき、審査員（NTT Com および株式会社 NTT ドコモ^{※7}の宇宙、GX に関する有識者 計 6 名で構成）による審査を実施しました。

事業の妥当性	募集したテーマに基づき、宇宙という素材を活用した事業を創出出来る内容であるか • テーマ課題を的確に捉えているか • 協賛企業サービスとのシナジーが得られるか、など
事業の実現性・収益性	事業仮説が立てられており、将来的に収益が見込める内容であるか • 事業における顧客や付加価値が想定・提示されているか • 類似するサービスとの差別化などが提示できているか • 事業化に向けたスケジュールやマイルストーンが提示されているか • 技術的な課題及び対応方針が認識されているか、など
事業の技術の妥当性	提案された事業に利用もしくは開発するシステムについて衛星データの利用に関する技術が実現可能なレベルにあるか • 衛星データを利用した開発や事業を進めるための技術シーズを有しているか、技術シーズを創出できる見込みがあるか

4. 今後の展開

SSIL と NTT Com は本プログラムの開催を通して、衛星データの活用可能性や新たなユースケースを見出し、宇宙ビジネスの拡大に貢献します。

また、NTT Com では、今回選出した受賞者や応募者と宇宙や GX に関する協創ソリューション実現に向けた検討を行い、受賞アイデアのテーマとなっている「ブルーカーボン」や「ペロブスカイト太陽光発電」など新領域のビジネス拡大を目指します。

NTTCom では Green Natural Credit^{※8}（カーボンクレジットプロジェクト）を提供しております。ME-Lab Japan 社との連携により、ブルーカーボン分野におけるプロジェクトを一貫して支援することが可能となります。カーボンクレジットビジネスの拡大に向けて、今後協業の可能性を検討していきます。

ペロブスカイト太陽電池では、ビルの壁などを活用した太陽光発電が可能となるため、より環境に配慮した発電ができ、スマートシティに貢献することが期待されます。NTT Com では、サステナブルなスマートシティ・スマートビルの実現に取り組んでおり、今後活用の可能性を検討していきます。

※1：NTT Com は本プログラムの協賛企業として参画しています。

※2：「NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth」の詳細は下記 URL をご参照ください。

<https://space-data-challenge.nedo.go.jp/>

※3：「NTT C89」は「NTT CONSTELLATION 89 PROJECT」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて宇宙関連事業の拡大および宇宙産業全体の発展に貢献していく取り組みです。



URL : <https://group.ntt.jp/aerospace>

※4：「NTT G×Inno」は「NTT GX（Green Transformation）× Innovation」の略称であり、社会へのソリューション提供を通じて GX 分野で Innovation（変革）をおこし、2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献していく取り組みです。

- ※5 : ブルーカーボンプロジェクトとは、沿岸および海洋生態系（例：マングローブ林、海草藻場、塩性湿地など）において、二酸化炭素を吸収・貯留する機能を活用し、気候変動緩和に寄与する取り組みの総称です。これらの生態系は、陸上の森林に匹敵する炭素貯留能力を持つとされ、保護・再生を通じた温室効果ガスの削減に加え、生物多様性の保全や沿岸地域の防災・減災にも貢献します。
- ※6 : ペロブスカイト太陽光発電とはペロブスカイト構造という特殊な結晶構造を持つ物質を用いて作られた太陽電池を利用した発電方法です。軽量で柔軟性が高いことが特徴で壁面設置が可能なため環境問題や土地不足の課題をクリアしつつ急増する電力需要に対応が可能です。
- ※7 : 株式会社 NTT ドコモは NTT Com の関連企業として応募審査に参画しています。
- ※8 : Green Natural Credit とは、カーボンプレジットの創出と販売を支援するプロジェクトの総称、またはその構想を指します。

- * 「NTT C89」は、日本電信電話株式会社の商標です。
- * 「NTT G×Inno」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

関連リンク

[ニュース 2024 年 7 月 12 日:SSIL と NTT Com、ビジネスアイデアコンテスト「衛星データ活用アワード 2024」を開催 | ドコモビジネス | NTT コミュニケーションズ 企業情報](#)
[NEDO Challenge, Satellite Data for Green Earth](#)
[“NEDO Challenge”「NEDO 懸賞金活用型プログラム」プログラムの最終選考会・表彰式の観覧者募集を開始しました | ニュース | NEDO](#)

【本件に関するお問い合わせ先】

宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合
衛星データ活用アワード 2024 実行委員会 事務局
satellite_data_award_2024@ssil.jp

NTT コミュニケーションズ株式会社
ビジネスソリューション本部 事業推進部 マーケティング部門
space_green_sponsor@ntt.com

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

NTT コミュニケーションズ株式会社
経営企画部 広報室 報道担当
pr-cp@ntt.com